

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2001-268275  
(P2001-268275A)

(43) 公開日 平成13年9月28日 (2001.9.28)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テレポート* (参考)
H 0 4 M 15/00		H 0 4 M 15/00	Z 5 B 0 4 9
G 0 6 F 17/60	1 1 2	G 0 6 F 17/60	1 1 2 A 5 K 0 2 0
	3 2 4		3 2 4
	3 2 6		3 2 6
	5 0 2		5 0 2

審査請求 有 請求項の数13 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2000-273468(P2000-273466)

(22) 出願日 平成12年9月8日 (2000.9.8)

(31) 優先権主張番号 2000-11355

(32) 優先日 平成12年3月7日 (2000.3.7)

(33) 優先権主張国 韓国 (K R)

(71) 出願人 500421646  
株式会社ウェブ2フォン  
大韓民国ソウル特別市江南区三成洞143-37 現代タワービル10階

(72) 発明者 郭 奉烈  
大韓民国仁川廣域市延壽区東春洞928番地  
現代アパートメント120-705

(72) 発明者 李 亮東  
大韓民国ソウル特別市永登浦区汝矣島洞  
銀河アパートメント・ビー-1101

(74) 代理人 100062144  
弁理士 青山 葆 (外2名)

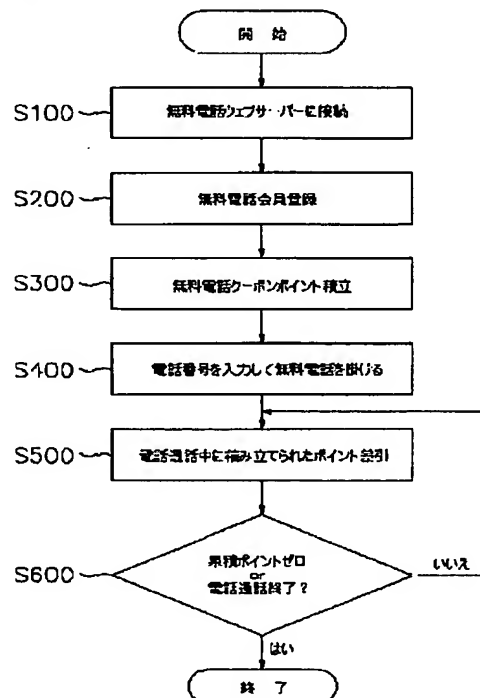
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 インターネット上での無料電話サービス方法及び装置

(57) 【要約】

【課題】 広告効果を最大化したインターネット上の無料電話サービス方法を提供する。

【解決手段】 本発明はインターネット上での無料電話サービス方法及び装置に関するものであり、利用者は自分の望む方法で広告を見るときその広告を見る時間に応じて差別的に無料電話クーポンポイントを積み立て、積み立てられた無料電話クーポンポイントを利用してインターネット上で無料で電話を使用し、電話使用時に定められた電話料金率に基づいてクーポンポイントを差し引くことができるようにするため広告効果がある。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザーがインターネットのネットワークを介して無料電話ウェブサーバーに接続して会員に登録する過程；前記過程で無料電話ウェブサーバーに登録した会員が、ウェブ上で提供される情報及び広告を介して無料電話クーポンポイントを積み立てる過程；前記過程で積み立てられたクーポンポイントを利用し、無料電話の使用を試みるとき設定された広告を示す過程；及び前記過程で相手方との無料電話通話時に通話料率に基づいて積み立てられたクーポンポイントを差し引く過程を含み、前記無料通話中積み立てられたクーポンポイントがなければ電話通話を終了させることを特徴とするインターネット上での無料電話サービス方法。

【請求項2】 前記会員登録過程は、無料電話ウェブサーバーに接続したユーザーが会員に登録するか否かを判断する段階；前記段階で判断した結果会員に登録する場合、その作成された会員情報を検索する段階；前記段階で検索された会員情報に異常がない場合、データベースに貯蔵し、登録された会員に無料電話クーポンポイントを積み立てさせる段階；及び前記段階で積み立てられた無料電話クーポンポイントを会員に示す段階からなることを特徴とする請求項1記載のインターネット上での無料電話サービス方法。

【請求項3】 前記会員に提供される無料電話クーポンポイントは、会員が提供した情報の詳細程度に応じて差別的に積み立てられることを特徴とする請求項2記載のインターネット上の無料電話サービス方法。

【請求項4】 前記無料電話クーポンポイントは、広告メールの購読を申し込んだ場合に積み立てられ、購読申請会員が受信した広告メールを開いて見る場合、その読み取り時間に従い無料クーポンが追加的に積み立てられることを特徴とする請求項1記載のインターネット上の無料電話サービス方法。

【請求項5】 前記無料電話クーポンポイントは、ウェブ上で提供される広告バーバーをクリックする場合、その広告をクリックして開いて見た時間に依りて差別的にポイントが積み立てられることを特徴とする請求項1記載のインターネット上の無料電話サービス方法。

【請求項6】 前記無料電話クーポンポイントは、提携会社の会員に加入する場合、積み立てられることを特徴とする請求項1記載のインターネット上の無料電話サービス方法。

【請求項7】 前記無料電話クーポンポイントは、アンケート及びオンラインイベントに参加する場合、その作成された詳細情報に従い差別的に積み立てられることを特徴とする請求項1記載のインターネット上の無料電話サービス方法。

【請求項8】 前記第2過程で無料電話クーポンポイントは、ダイヤラーウィンドー内の特定リンクをクリックする場合、そのリンク時間に依りて差別的に積み立てら

れることを特徴とする請求項1記載のインターネット上の無料電話サービス方法。

【請求項9】 無料電話会員が電話掛けウィンドーを設定する場合ダイヤラーをローディングし、そのローディングされる時間の間、中間全体画面広告を出力する段階；前記ダイヤラーがローディングされると、電話掛けウィンドーにダイヤラーとともに広告画面を示す段階；前記段階で示された広告画面を会員がクリックするか否かを判断する段階；前記段階で判断した結果、広告画面をクリックする場合、該当するポイントを与える段階；会員がダイヤラーを利用して電話番号を入力する場合、入力された電話番号の料率を適用して通話開始を行う段階からなることを特徴とする請求項1記載のインターネット上の無料電話サービス方法。

【請求項10】 前記中間全体画面広告は、会員加入情報に記載された関心分野にダイヤラーがローディングされる時間の間、示されることを特徴とする請求項9記載のインターネット上の無料電話サービス方法。

【請求項11】 前記ダイヤラーとともに示される広告画面は、フルスクリーンメイン広告領域と棒状広告領域に区分され、前記棒状広告領域の広告は30秒の間隔で取替え、ユーザーが棒状広告をクリックすると、該当する広告はフルスクリーンメイン広告領域にローディングされることを特徴とする請求項9記載のインターネット上の無料電話サービス方法。

【請求項12】 前記棒状広告領域には、ユーザーから入力された電話番号の地域に関係した広告を示すことを特徴とする請求項9記載のインターネット上の無料電話サービス方法。

【請求項13】 ユーザーがインターネットのネットワークを介して無料電話会員に加入する手段；前記手段で加入した会員が、提供される無料電話クーポンポイントを積み立てる手段；前記手段で積み立てられた無料電話クーポンポイントを利用して無料電話の使用を試みる手段；及び前記無料電話通話時に通話料率及び通話時間に依りて積み立てられたクーポンを差し引く手段を含み、積み立てられたクーポンがなければ自動的に電話通話を終了させるようにすることを特徴とするインターネット上での無料電話サービス装置。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は無料電話サービス方法に関し、より詳しくはインターネット上でユーザーが定められた広告をクリックして画面を見れば、ポイントを積み立てることにより積み立てられたポイントで無料で電話を用いることができるようにした、インターネットのネットワークを利用した無料電話サービス方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】インターネットのネットワークを利用し

た多様なサービスのうち、ウェブを介しての無料電話サービスが多様な形で提供されている。その例として、両方の通話者がPCでインターネットのネットワークに無料電話を提供するサーバーに接続して電話通話を行うか、PCで一般電話機に接続する方法等が提供されている。前記のインターネットのネットワークを介して無料電話を提供するサービス会社は、無料電話に伴う投資費用及び電話料金をウェブ上でバーナー広告を誘致することによりこれを収益モデルにしているが、その収益が不透明であるだけでなく広告主をして明確な広告収入の効果を誘導することができない問題点があった。

【0003】即ち、ユーザーがウェブ上で無料で通話を試みる場合、無料電話ウェブサイトウェブでバーナー広告をクリックしたあと一定時間に拘らずただバーナー広告をクリックすることにより、無料電話使用権を与えたり一方的に無料電話ウェブでユーザーにバーナー広告を一定時間示しているため、実質的な広告効果を期待し難い問題点があった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ここに、本発明は前述のような問題点を解決するためになされたものであり、利用者は自分の望む方法で広告を見る場合その広告を見る時間及び段階に従い差別的に無料電話クーポンポイントを積み立て、積み立てられた無料電話クーポンポイントによりインターネット上で無料で電話を使用し、電話使用時に定められた電話料金率に基づいてクーポンポイントを差し引くことができるようにし、広告効果を最大化したインターネット上の無料電話サービス方法を提供することにその目的がある。

【0005】

【課題を解決するための手段】前記の目的を達成するための本発明は、ユーザーがインターネットのネットワークを介し無料電話ウェブサーバーに接続して会員に登録する過程；前記無料電話ウェブサーバーに登録した会員がウェブ上に無料電話クーポンポイントを積み立てる過程；前記過程で積み立てられたクーポンポイントを利用して無料電話の使用を試みる第3過程；及び前記過程で相手方との無料電話通話時に通話料率に基づいて積み立てられたクーポンポイントを差し引く第4過程を含み、前記無料通話中積み立てられたクーポンポイントがなければ電話通話を終了させることを特徴とする。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、添付の図面を参照しながら本発明に係る一般的な例を詳しく説明する。

【0007】図1は、本発明が適用される無料電話サービスのためのネットワーク構成で、ユーザーPC(110、120、130)、インターネットのネットワーク(120)、無料電話ウェブサーバー(300)、無料電話データベース(350)、課金サーバー(400)、ウェブコールセンター(500)、及び通信事業者ネットワーク(600)を

含む。

【0008】前記通信事業者ネットワーク(600)は、国際電話(625)と通信接続する特定通信事業者ネットワーク(620)、市内及び市外電話(645)と通信接続する基幹通信事業者ネットワーク(640)、及び移動通信端末機(665)と通信接続する移動通信事業者ネットワーク(660)を含む。

【0009】前記ユーザーPC(110、120、130)は、インターネットのネットワーク(200)を介して無料電話ウェブサーバー(300)に接続される。前記無料電話ウェブサーバー(300)は、インターネットのネットワーク(200)を介して接続されたユーザーを会員登録させるか既に登録された会員情報を検索し、ユーザーがウェブ上に示されたバーナー広告をクリックする場合、そのクリック時間をチェックしてこれを後述の課金サーバー(400)に提供し、課金サーバー(400)からクリック時間及び段階に伴うクーポンポイント情報を提供され、その無料電話クーポンポイント情報を処理してユーザーPC(110、120、130)に提供する。前記無料電話ウェブサーバー(300)は、ユーザーPC(110、120、130)から提供された電話番号情報をウェブコールセンター(500)に送信し、無料電話クーポンポイントを積み立てたユーザーPC(110、120、130)が無料通話時に、後述の課金サーバー(400)からクーポンポイント差引情報を受け、これをユーザーPC(110、120、130)に提供する。

【0010】前記無料電話データベース(350)は、無料電話ウェブサーバー(300)に接続され、会員身元情報、会員無料電話クーポンポイント情報、バーナー広告のリンク情報、及びバーナー広告情報等を含んでいる。

【0011】前記課金サーバー(400)は、ユーザーの広告クリック時間及び段階をチェックし、クリックされた時間に該当する無料電話クーポンポイント情報を無料電話ウェブサーバー(300)に提供し、無料通話時に設定された料率に基づいて積み立てられたクーポンポイントを差し引いた情報を無料電話ウェブサーバー(300)に提供する。前記ウェブコールセンター(500)は、無料電話ウェブサーバー(300)から呼び出された電話番号情報により通信事業者ネットワーク(620)を介して相手方を呼び出す。

【0012】ここで、前記ウェブコールセンター(500)は、ウェブプラグイン(Web Plugin)を利用したダイヤラープログラムを用い、インターネットのネットワークを利用して一般電話ラインでの通話を可能にしたVOIP(Voice Over Internet Protocol)を利用する。

【0013】図2は、本発明に係る無料電話サービス方法を説明する。

【0014】ユーザーPC(110、120、130)は、インターネットのネットワーク(200)を介して無料電話ウェブサーバー(200)に接続し無料電話会員登録を登録

する。そうすると、前記無料電話ウェブサーバー（200）は、ユーザーの情報を無料電話データベース（250）に貯蔵し、登録に伴う無料電話クーポンポイントをユーザーPC（110、120、130）にそれぞれ提供する。ここで各ユーザーPC（110、120、130）で作成された会員情報は、その記載程度に従い差別的に等級を分類してクーポンポイントを積み立て、その積み立てられたクーポンポイント情報も無料電話データベース（250）に貯蔵される（S100、S200）。

【0015】その後、ユーザーがウェブ上で無料電話使用のためのクーポンポイント積立動作を行えば、前記無料電話ウェブサーバー（300）は積み立てられた無料電話クーポンポイントをインターネットのネットワーク（200）を介してユーザーPC（110、120、130）に発送する。このとき、ユーザーは自分の積み立てられたクーポンポイントを確認し、ウェブ上で電話使用ウィンドウをクリックして電話番号を入力すれば、その電話番号情報はインターネットのネットワーク（200）を介して無料電話ウェブサーバー（300）に送信される。

【0016】そうすると、前記無料電話ウェブサーバー（300）は、インターネットのネットワーク（200）を介して提供された電話番号情報に基づいた、無料電話データベース（350）に掲載された情報に従って料率を適用する。さらに、前記無料電話ウェブサーバー（300）は電話番号情報をウェブコールセンター（500）に提供する。そうすると、前記ウェブコールセンター（500）は、提供された電話番号を分析し、該当する通信事業者ネットワーク（600）を介して電話通話を連結する（S300、S400）。

【0017】このとき、ユーザーPC（110）と相手方がウェブコールセンター（500）を介して電話通話を開始する場合、前記無料電話ウェブサーバー（300）は電話通話開始情報を課金サーバー（400）に提供する。そうすると、この課金サーバー（400）は、電話番号開始情報を入力され、設定された料率に基づいて無料電話クーポンポイントを差し引き、その情報を無料電話ウェブサーバー（300）に提供する。このとき、無料電話クーポンポイントの差引情報は、インターネットのネットワーク（200）を介して無料通話を開始したユーザーPC（110）に提供される。したがって、ユーザーPC（110）上には無料電話通話中に無料電話ウェブサーバー（300）から提供される差引情報により、積み立てられたクーポンポイントが画面上で差し引かれることを確認することができる（S500）。

【0018】このとき、前記無料電話ウェブサーバー（300）は、現在無料電話通話中のユーザーの無料電話クーポンポイントの差引状態を引続き感知し、通話中のユーザーが積み立てたクーポンポイントがゼロになればウェブコールセンター（500）に通話中止命令を提供する。したがって、ユーザーの無料電話通話は終了される

（S600）。

【0019】一方、前記のように無料通話が終了される場合、ユーザーは無料通話ウェブサーバー（300）で提供する無料電話クーポンポイントを積み立てれば再度通話を行うことができる。

【0020】図3は、図2に示された無料電話会員登録過程を細部に亘って説明する詳細フローチャートである。

【0021】まず、ユーザーがインターネットのネットワーク（200）を介し無料電話ウェブサーバー（300）に接続してメイン会員メニューウィンドウで会員情報を作成し、これを無料電話ウェブサーバー（300）に提供する。そうすると、この無料電話ウェブサーバー（300）は、ユーザーから提供された情報を検索し作成上誤謬のない場合、無料電話データベース（350）にユーザーが作成した会員情報を登録する（S210、S220、S230）。

【0022】さらに、前記無料電話ウェブサーバー（300）は、インターネットのネットワーク（200）を介し、会員登録したユーザーPC（110、120、130）に会員登録に伴う一定額の無料電話クーポンポイントを与えて各ユーザーPC（110、120、130）に提供する。そうすると、前記ユーザーPC（110、120、130）に提供された積立ポイント情報は画面上に示される（S250）。

【0023】図4は、図2に示された無料電話クーポンポイントの積立過程を細部に亘って説明する詳細フローチャートである。

【0024】ユーザーが会員メインメニューウィンドウでクーポン積立を設定する場合、前記設定されたクリック情報に従い多様な方式で無料電話クーポンポイントが積み立てられる。即ち、ユーザーが広告メールの購読を登録する場合、前記無料電話ウェブサーバー（300）は、該当するメール購読会員の情報を貯蔵し（S320）、購読登録に伴う無料電話クーポンを積み立てる（S325）。

【0025】さらに、ユーザーがウェブ上に示された広告バーナーをクリックする場合、このクリックされた信号は無料電話ウェブサーバー（300）を介して課金サーバー（400）に提供される。このとき、この課金サーバー（400）は内部カウンターによりカウント動作し、ユーザーが実際にバーナー広告を開いて見た時間ほど無料電話クーポンポイントを積み立てる（S330、S335）。

【0026】ここで、前記課金サーバー（400）は、ハイパーテキスト転送プロトコルに基づき、ユーザー情報及びウェブコンテンツ別に使用時間をチェックすることができる。

【0027】なお、ユーザーがウェブ上で提携会社の会員登録を行うと、その会員登録情報は無料電話ウェブサーバー（300）に提供される。このとき、前記無料電話ウェブサーバー（300）は、無料電話データベース（350）を介して会員情報を検索し、該当する会員に加入に

伴う無料電話クーポンポイントを積み立てる (S340、S345)。

【0028】一方、ユーザーが無料電話ウェブ上で提供されるアンケート及びオンラインイベントに参加する場合 (S350)、前記無料電話ウェブサーバー (300) は、作成された情報を検索し、その作成された情報に従ってポイントを差別的にユーザーに積み立てる (S355)。

【0029】さらに、ユーザーが無料電話ウェブ上の特定リンクをクリックする場合、このクリック時間は無料電話ウェブサーバー (300) でカウンティングされ、そのカウント時間に該当する課金情報、即ち無料電話クーポンポイントを課金サーバー (400) から提供される。したがって、前記無料電話ウェブサーバー (300) は提供されたユーザー広告クリック時間に該当する無料電話クーポンポイントをユーザーに積み立てる (S360、S365)。

【0030】なお、前記のように各種方法により積み立てられたポイントは、図6aに示されたようなポイント積立ウィンドーで形成され、最終的にユーザーが積み立てた無料電話クーポンポイントを示す。図5は、図2に示された無料電話の使用過程を細部に亘って説明する詳細フローチャートである。

【0031】ユーザーが一定の無料電話クーポンポイントを積み立てる場合、ポイント積立ウィンドーで電話使用を設定する。そうすると、電話使用が設定された情報はインターネットのネットワーク (200) を介して無料電話ウェブサーバー (300) に提供される。このとき、前記無料電話ウェブサーバー (300) は、ダイヤラーをローディングし、そのダイヤラーがローディングされる時間の間、中間全体画面広告をインターネットのネットワーク (200) を介してユーザーに提供する (S410、S420)。

【0032】ここで、前記ダイヤラーのローディング時間は5秒から10秒程度であり、中間全体画面広告は動映像で提供されフラッシュ機能によりダイヤラーがローディングされると自動的にウィンドーを閉じるようにする。

【0033】ここで、前記中間全体画面広告は、注目度が高く広告効果が大いいため、高い広告収益を上げることができるようし、特定利用者群を対象にターゲットを決めて広告できるようにする。即ち、会員情報を利用して会員の関心事項及び年齢に適する広告を集中的に中間全体画面広告で示す。

【0034】一方、前記のようにダイヤラーがローディングされると、中間全体画面広告ウィンドーは閉じられ、図6cに示されたようにダイヤラーとともにフルスクリーン広告 (Full Screen html AD) と棒状広告 (ticker AD) が示される (S430)。このとき、ユーザーが該当する広告をクリックすると、そのクリック情報は無料電話ウェブサーバー (300) に提供され、この提供され

た情報により、無料電話ウェブサーバー (300) は、課金サーバー (400) から課金形態を提供され、ユーザーに無料電話クーポンポイントを積み立てる (S450)。

【0035】ここで、前記棒状広告 (ticker AD) は、30秒の間隔で広告が取替えられるように設定し、該当する棒状広告をユーザーがクリックするとフルスクリーン広告領域に該当するホームページがローディングされるようにする。したがって、ユーザーは該当する広告のクリックに伴う無料電話クーポンポイントを受けることができる。

【0036】一方、ユーザーが電話使用画面ウィンドーに示されたダイヤラーを介して電話番号を入力しダイヤリングすると、無料電話ウェブサーバー (300) は、入力された電話番号を分析して該当する地域に従う料率を決定し、前記ウェブコールセンター (500) にユーザーが設定した電話番号情報を提供する。

【0037】このとき、前記ウェブコールセンター (500) は、入力された電話番号に該当する通信事業者ネットワーク (600) で通信接続を行うが、ユーザーが国際電話番号を入力した場合、特定通信事業者ネットワーク (620) を介して国際電話端末機 (625) と通話を行う。さらに、ユーザーが国内有線電話番号を入力した場合は、基幹通信事業者ネットワーク (640) を介して一般有線端末機 (645) と通話を試みる。なお、ユーザーが携帯電話番号を入力した場合、前記ウェブコールセンター (400) は移動通信事業者ネットワーク (660) を介してユーザーが移動通信端末機 (665) で通話を試みる (S470)。

【0038】このとき、前記の動作により無料電話が開始されると、前記無料電話ウェブサーバー (300) は、設定された料率に基づき積み立てられた無料電話クーポンポイントの差引情報を課金サーバー (400) から提供され、このクーポンポイント差引情報を電話通話中のユーザーのウェブ上で示す。したがって、ユーザーは無料通話中に自分が積み立てたクーポンの減少を認知することができる。

【0039】さらに、前記無料電話ウェブサーバー (300) は、ユーザーから入力された電話番号を分析し、該当する地域 (国家) に関連した広告 (例えば、米国国際電話番号を入力する場合、米国に関連した広告) を広告サーバー (図示されていない) から提供され、電話使用ウィンドーに棒状広告で示す (S480)。

【0040】一方、前記無料電話ウェブサーバー (300) は、ユーザーPC (110) が会員登録とともに広告メール受信登録を設定する場合、周期的にユーザーPC (110) に広告メール情報を提供する。このとき、ユーザーPC (110) がインターネットのネットワーク (200) を介して受信された広告メールを確認し、広告を見るためクリックする場合、前記無料電話ウェブサーバー (300) は一定の無料電話クーポンポイントをユーザー

PC (110) に提供する。このとき、ユーザーPC (110) に提供される無料電話クーポンポイントはユーザーがクリックした時間をチェックして差別的に提供する。

【0041】一方、前記無料電話ウェブサーバー (300) は、ユーザーの広告クリックに伴う無料通話クーポンの発行及び電話通話時の料率適用を、サーバー運用者が任意に調整できるようにする。したがって、運用者は広告収益から運用費用を差し引いた金額ほど無料通話クーポンを発行するか、無料通話に伴う料率適用を調整することにより一定の収益創出を図ることができる。

【0042】

【発明の効果】以上のように本発明は、インターネット上で無料電話サービスを具現するに際しユーザーがウェブで提供するクーポン積立ウィンドウを介してクーポンを積み立て、この積み立てられたクーポンポイントを利用して無料で電話を掛けるとき、積み立てられたクーポンが差し引かれるようにすることにより、広告効果を最大化することができる。

【0043】併せて、本発明の好ましい実施例等は例示の目的のため開示されたものであり、当業者であれば本発明の思想と範囲内で多様な修正、変更、付加等が可能ならずであり、このような修正・変更等は以上の特許請求の範囲に属するものと見なすべきである。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明が適用される無料電話サービスのためのネットワーク構成図。

【図2】 本発明に係る全般的な無料電話サービスの方法を説明するフローチャート。

【図3】 図2の細部に亘る無料電話サービス方法を説明するフローチャート。

【図4】 図2の細部に亘る無料電話サービス方法を説明するフローチャート。

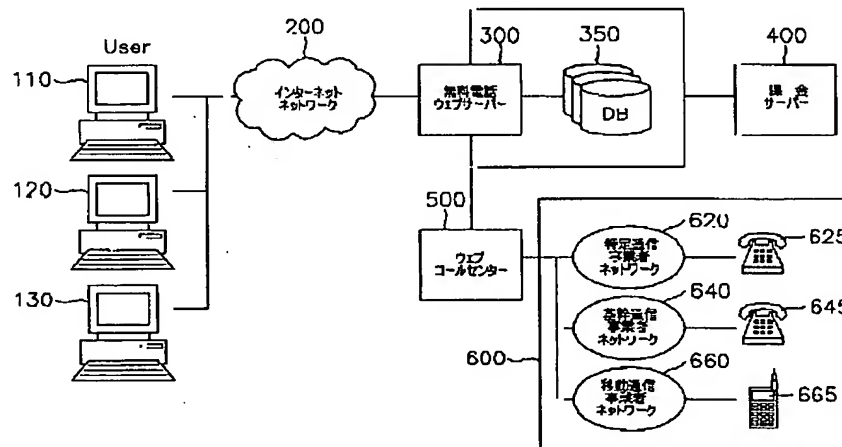
【図5】 図2の細部に亘る無料電話サービス方法を説明するフローチャート。

【図6】 本発明に係る無料電話サービスでの広告画面ウィンドウの一実施例図。

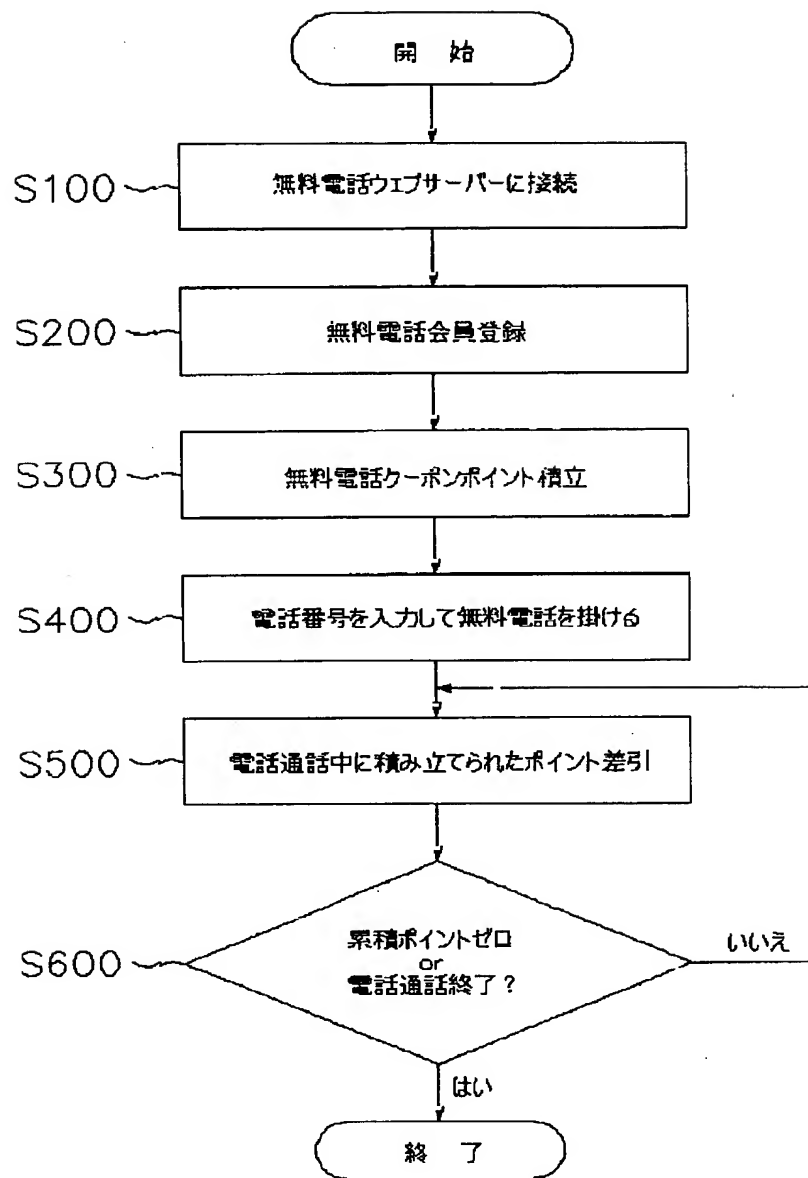
【符号の説明】

110、120、130：ユーザーPC	200：インター ネットのネットワーク
300：無料電話ウェブサーバー	350：無料電話 データベース
400：課金サーバー	500：ウェブコ ールセンター
620：特定通信事業者ネットワーク	625：国際電話
640：基幹通信事業者ネットワーク	645：市内及び 市外電話
660：移動通信事業者ネットワーク	665：携帯電話 端末機

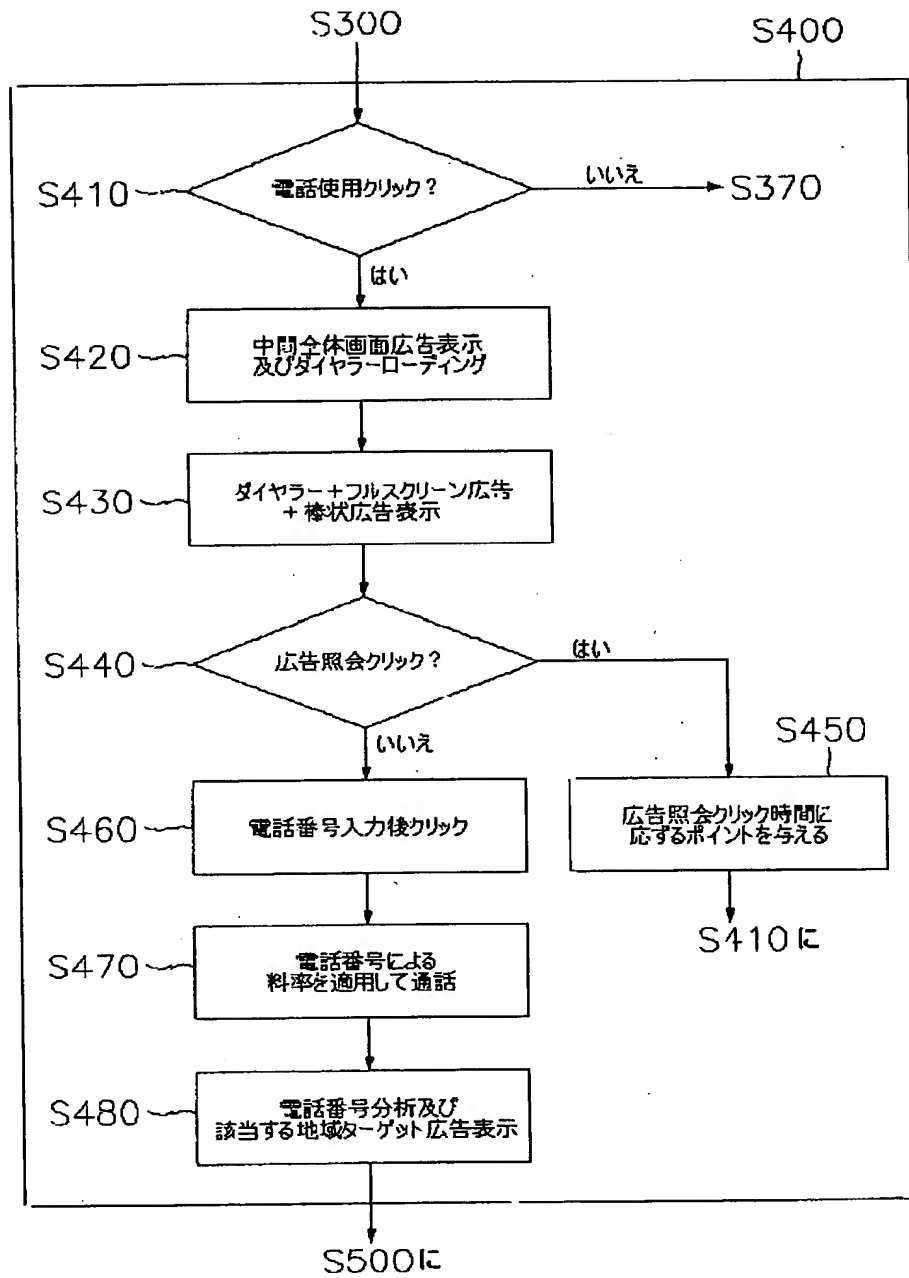
【図1】



【図2】

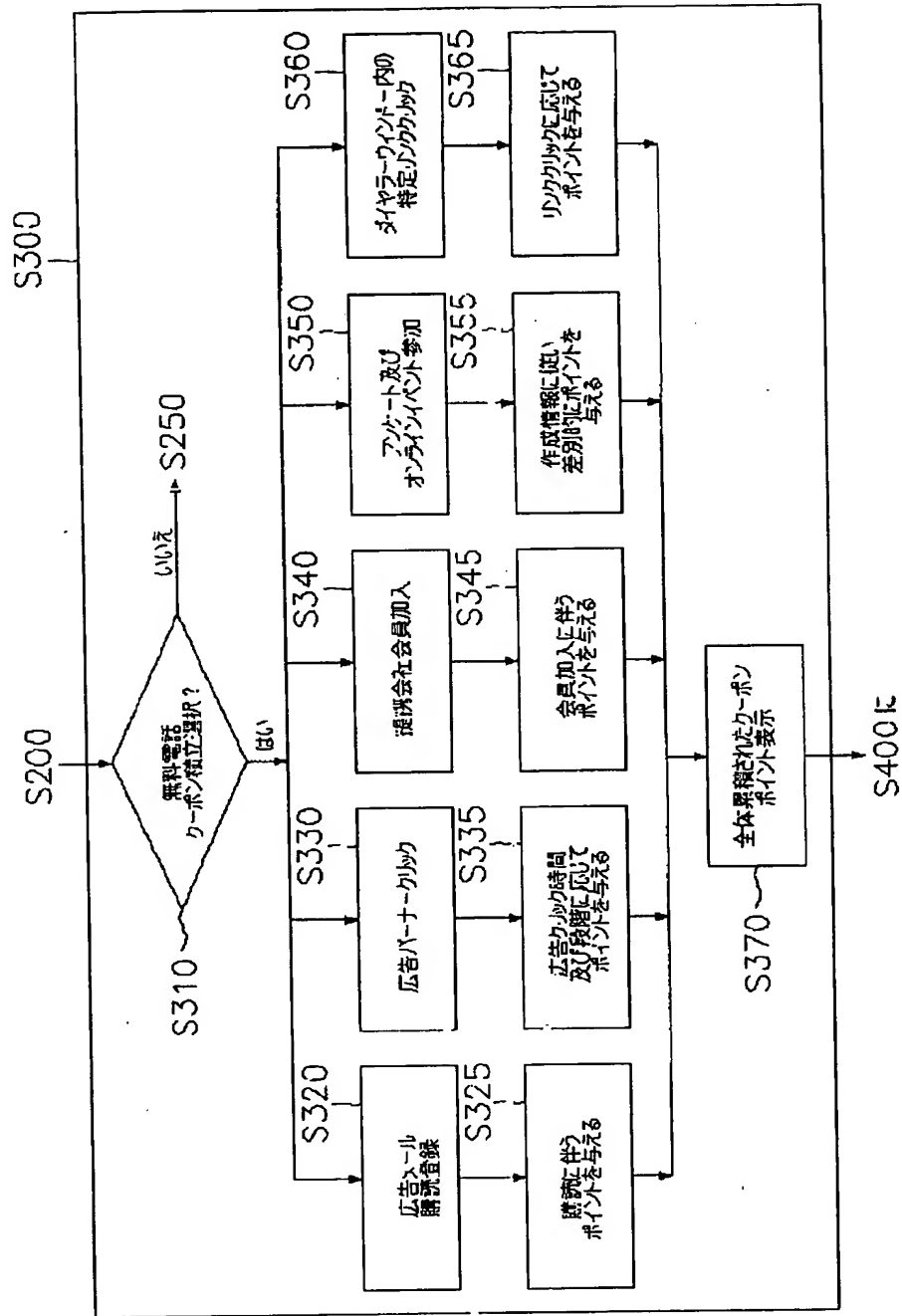


【図3】

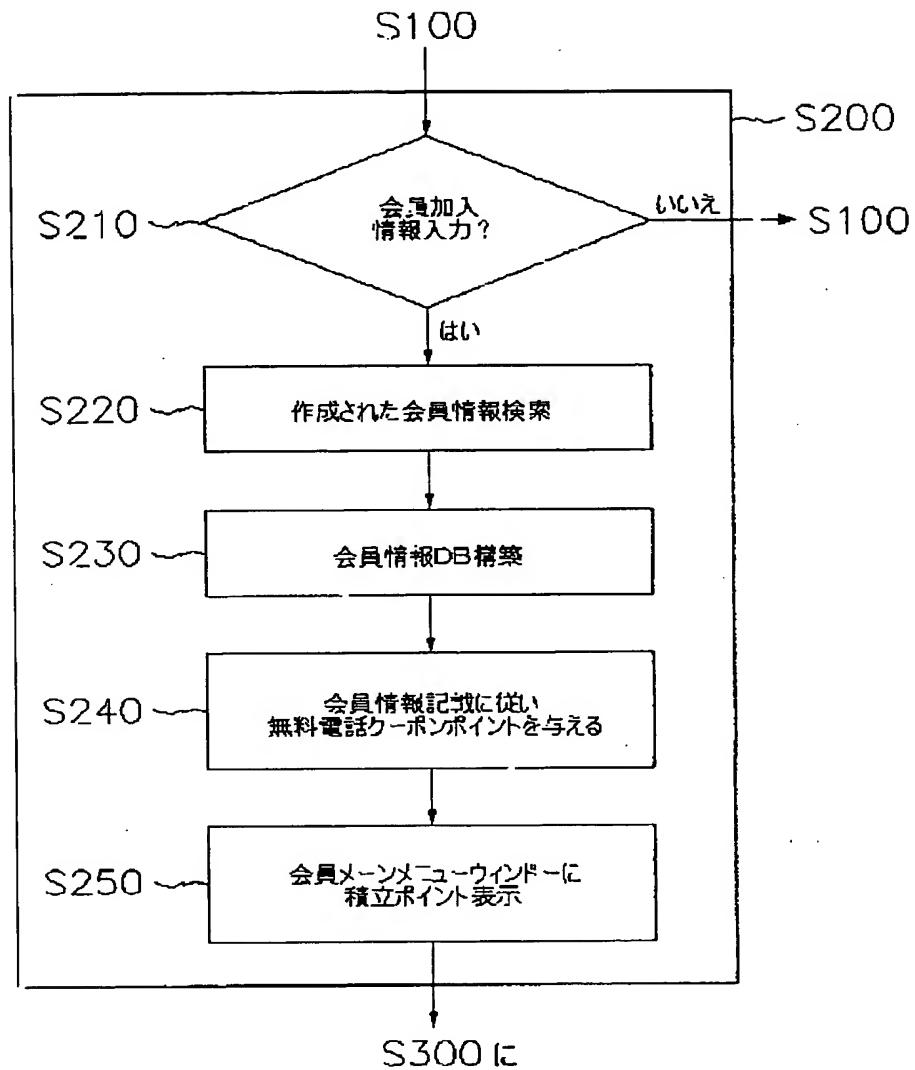




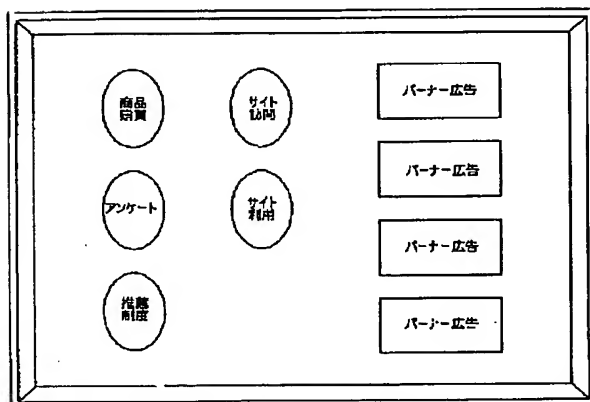
【図4】



【図5】



【図6】



【手続補正書】

【提出日】平成12年9月19日(2000.9.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正内容】

【0034】一方、前記のようにダイアラーがローディングされると、中間全体画面広告ウィンドーは閉じられ、図6bに示されたようにダイアラーとともにフルスクリーン広告(Full Screen html AD)と棒状広告(ticker AD)が示される(S430)。このとき、ユーザーが該

当する広告をクリックすると、そのクリック情報は無料電話ウェブサーバー(300)に提供され、この提供された情報により、無料電話ウェブサーバー(300)は、課金サーバー(400)から課金形態を提供され、ユーザーに無料電話クーポンポイントを積み立てる(S450)。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

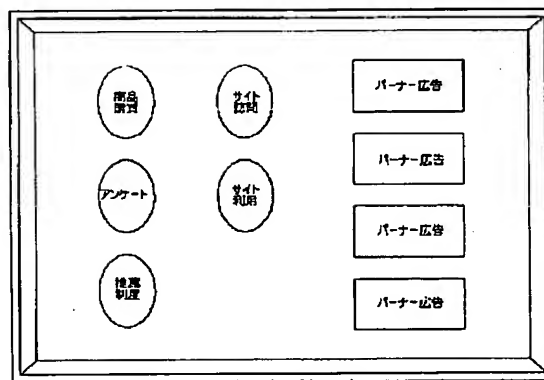
【補正対象項目名】図6

【補正方法】変更

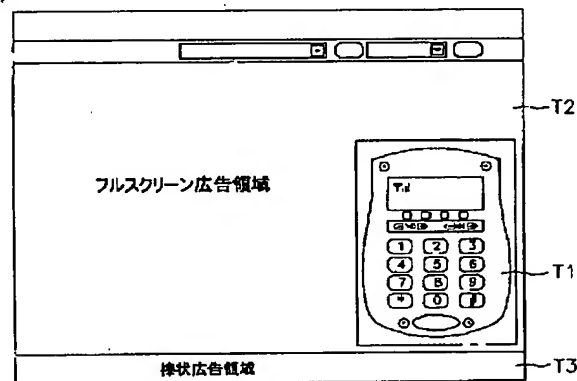
【補正内容】

【図6】

(a)



(b)



フロントページの続き

(72)発明者 盧 光▲じん▼  
大韓民国ソウル特別市江南区論▲ひょん▼  
洞122番地 論▲ひょん▼新東亜アパート  
メント102-701

Fターム(参考) 5B049 AA02 AA06 BB49 GG00  
5K025 BB10 CC09 EE19 GG08 GG10